

## 高齢者等タクシー利用券



日常生活の移動手段として網走ハイヤーを利用した際に運賃を助成する、「高齢者等タクシー利用券」を交付しています。

- 申請受付：3月22日(月)から(随時受付)  
 対象者：○75歳以上の方  
 ○自動車運転免許返納者(75歳未満)  
 ○重度障がい児(者)  
 ・身体障害者手帳1・2級  
 ・療育手帳A判定  
 ・精神手帳1級
- 申請方法：役場(保健福祉課福祉係)にてお申込みください。  
 ※印鑑が必要です。自動車運転免許返納者は、公安委員会が発行する運転経歴証明書又は、運転免許の取消し通知書等の提示が必要です。
- 利用期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

初乗り料金は 610 円です。「高齢者等タクシー利用券」を使うと町内に限り、300 円でご乗車いただけます!!

この事業は、「小清水町町税等の優良納付者の権利と義務に関する措置条例」の適用となりますので、申込者及び世帯の方の町税等の納付状況を確認させていただくことがあります。確認の結果、交付できない場合がありますのでご了承下さい。

お問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係

☎(62) 4473

- 還元場所**  
 (株)下山産業堆肥場(※町道10線南7号交差点付近・看板目印)
- 還元方法**  
 ◇肥料袋などの袋に入れるかトラックの荷台に積むなどの方法により、各自お持ち帰りください。  
 ◇トラックへの積み込みや配送を希望される方は、生ごみ堆肥化業務委託業者にご相談ください。  
 (株)下山産業  
 ☎(62) 4124  
 (※積込・運搬費は有料)
- 還元期間**  
 4月23日(金)～4月25日(日)  
 [2日間]  
 ▼23日：午後1時～午後4時30分  
 ▼24日：午前8時～午後4時30分  
 (昼12時～午後1時除く)  
 ▼25日：午前8時～午後4時30分

**お願い**  
 よい堆肥を作るため、生ごみを出すときは生ごみ以外のものを入れないでください。魚以外の骨、貝殻、カニの殻は一般ごみです。  
 また、楊枝、バラ、ラッブ、弁当のしょう油入れも混ぜないようにお願いします。

窒素全量	…0.4%
りん酸全量	…0.3%
加里全量	…0.22%
炭酸窒素比	…8.3%
水分含有率	…41.2%
※堆肥は畑の土と混ぜて使用してください。	

お問い合わせ先

役場町民生活課住民活動係

☎(62) 4472

## 温泉入湯招待券



健康増進等の充実を図ることを目的として、「温泉入湯招待券及び入湯料割引券」を交付しています。

- 申請受付：3月22日(月)から(随時受付)  
 対象者：○70歳以上の方  
 ○身体障害者手帳1・2級をお持ちの方  
 ○重度心身障がい児
- 申請方法：役場(保健福祉課福祉係)または電話でお申込みください。  
 利用期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日  
 利用施設：小清水温泉ふれあいセンター  
 浜小清水 原生亭温泉

「温泉入湯招待券」には「無料招待券が12枚」と「入湯料が半額になる割引証」が付いています!!

## 生ごみから生産した堆肥を無償還元します!

**生ごみ堆肥について**  
 この堆肥は、家庭から排出された生ごみを原料に、貝化石・麦わら・おがくず・米糠等により生産した堆肥です。  
 町では、町民の皆さんに還元することとして、「コマツナを使用した植害調査や成分分析を行い「特殊肥料(小清水NAMA1号)」として届出をしています。

ご家庭から収集した生ごみは、専門業者の手により堆肥化処理を行っています。  
 今年も無償還元を行いますので、家庭菜園や花畑等の肥料としてご利用ください。(本年1回目の実施です。)

## 地域おこし協力隊

## 体験記



外国人技能実習生と地場産食材「大豆」を使った加工品作りに挑戦しました

藤代 裕希

早いものでこの体験記を書くのも今で最後となりました。小清水町に来てから、あっといふ間の3年。時間の速さには凄まじいものがあると実感しています。  
 初めて小清水町に来た日を振り返ると、知っている人も物も何もない未知の世界への不安と、何もないところで一から生活を始める新鮮な気持ちに心が弾むような感覚だったことを今でも覚えていま

す。短期間で関東から北海道移住を決めた流れで何も怖いものがない「錯覚」と、「駄目ならまたすぐにでも戻ってしまえばいい」という気持ちが自分を楽観的に向き寄者にさせていたように思います。  
 小清水での3年間を思い返すと、今までは感じたことのない物や興味すら持っていなかった事に目を向けるようになり、自分自身の価値観や物の見方が大きく変わりながら、知識も増え、視野も広がったように思います。  
 「勉強するのに年齢は関係ない」とよく言われますが、この年になっても新しい「トヤモノ」を学んだり感じたりすることは実に大切だと実感しました。  
 特に小清水町が誇る農業に間近で触れたことはとても貴重な経験でした。食べることは人が生きていく上で決して欠かすことのできない衣食住の一つですが、関東に住んでいた頃は農家さんの苦勞や、どのような想いで仕事をしているかなんて考えたことがありませんでした。ですが、ここには、実際に生産者の方にお話を聞くこ

とも、現場を見ることもでき、生産者ではない消費者である自分も農家さんを応援し、日本の農業に貢献できることを知りました。  
 小清水産と呼ばれる生産物は一通り食べましたし、収穫期が来ると「この野菜が食べたい!」と思うようになるのも生産地で暮らす醍醐味なのではないかと思えます。  
 生活する土地が変わり、私の場合は生活が180度変わったような気がしますが、人間は不思議なもの、「無理かも」と思うような環境でも、少しずつ慣れて順応していける素晴らしい特性があります。  
 私はその人間力を小清水で身をもって体験し、いろいろな忍耐力や柔軟性が身についたような気がします。小清水で過ごした3年間は成長の連続でした。  
 私はたくさん学び、得ることが出来ましたが、私が小清水に何か残せたかと考えると、それは「どうなのかな」と答えるに悩みますが、私のような外から来た人間が楽しく生活ができるような環境が今後



温泉熱を活用したハウス栽培で収穫された野菜

も続いていけばいいなと思っています。  
 任期は間もなく終えますが、やり損ねたと思うようなことがないように残りの生活と仕事を充実したものにしていきたいと考えています。また、この場をお借りしてお世話になった方々にお礼を申し上げたいと思います。私がここで一人でも生活できたのは、ひとえに私を優しく迎えてくれた町民の皆さんのおかげであり、皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。3年間本当にありがとうございました。もし、新たに協力隊員が来ても優しく迎え入れていただければと思います。